



OMLINE-O Ver. 1.8.0

リリースノート

リリース日: 2026 年 6 月 25 日

目次

はじめに	3
1 リリース内容	4
1.1 新機能の追加.....	4
1.1.1 メッセージ送信 Apex.....	4
1.1.2 テスト送信機能.....	4
1.1.3 英語ロケール対応.....	5
1.2 既存機能の変更	6
1.2.1 送信直前でのデータ最新化.....	6
1.2.2 任意オブジェクトでのチャンネルアカウント機能配置(LEX のみ)	6
1.2.3 カスタムドメイン対応.....	7
1.3 その他.....	7
2 お問い合わせ先	8
3 免責事項	8

はじめに

本リリースノートでは、OMLINE-O の新バージョンでご利用いただくことが可能となる機能を説明します。バージョンアップにより、以降に示す通りの機能追加・改善等が行われ、新しい機能をご利用いただくことが可能となります。

製品としての互換性の検証は十分に行っておりますが、お客様側で構築された Salesforce カスタマイズ等がこれまでどおり問題なく動作するかどうかについては、Sandbox 環境にて動作確認を行ってください。

1 リリース内容

1.1 新機能の追加

1.1.1 メッセージ送信 Apex

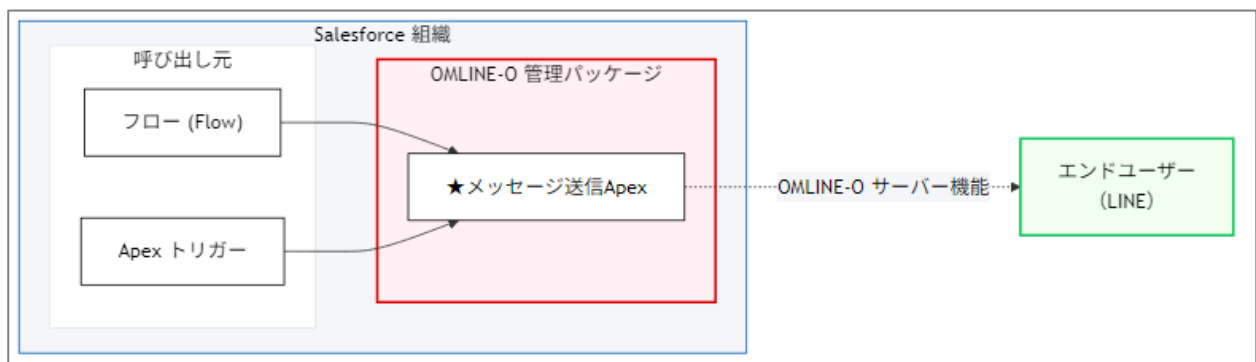
OMLINE-O の画面を経由せず、直接メッセージを送信できる Apex クラスを用意しました。

現状の課題：

単発送信を行いたいだけの場合でも画面遷移が多く、操作の手間から活用・定着が進みにくい状態でした。

改善後：

フローや Apex トリガーなどの自動化プロセスにこの Apex クラスを組み込むことで、任意のタイミングや画面からメッセージを単発送信できるようになります。これにより、1 件あたりのオペレーション時間を大幅に短縮できます。



1.1.2 テスト送信機能

「メッセージ送信」および「メッセージテンプレート」のプレビュー画面から、指定したソーシャルアカウント宛にテスト送信ができるようになりました。

これにより、本番の一齐送信前に、文面・改行・画像・Flex メッセージ等のレイアウトが実機の LINE 上でどう見えるかを事前に確認できます。

メッセージ作成 **プレビュー** 送信先設定

ソーシャルアカウントID
U **テスト送信**

🔗 ソーシャルアカウントIDをリストビューで確認する

こんにちは

1.1.3 英語ロケール対応

全体 UI、カスタム表示ラベル、オブジェクト翻訳、タブ翻訳を含む英語ロケールに対応しました。
Salesforce を英語環境で利用しているユーザーも、スムーズに OMLINE-O を利用できるようになります。

1.2 既存機能の変更

1.2.1 送信直前でのデータ最新化

メッセージ送信時に、対象データの抽出タイミングを「固定」か「動的(送信直前)」か選択できるようになりました。

メッセージ作成 プレビュー **送信先設定**

送信リストタイプ

☐ 固定リスト: 現時点の送信先・差し込み項目の値を取得します。

☐ 動的リスト: 送信直前に送信先・差し込み項目の値を取得します。

現状の課題:

送信予約から送信当日までの間に、条件を満たした顧客(新規流入やステータス変更者)がいても、予約時点のリストに固定されていたため、本来送るべき顧客への「送信漏れ」が発生するリスクがありました。

改善後:

送信直前に最新のリストを取得することで、アプローチ対象の取りこぼしを確実に防ぎ、営業機会を最大化できます。また、「送信直前に予約作業をしなければならない」という運用の制約がなくなり、業務効率が改善します。

1.2.2 任意オブジェクトでのチャネルアカウント機能配置(LEXのみ)

OMLINE-O のチャネルアカウント機能に関連するコンポーネントが、任意のオブジェクトでも利用可能になりました。

取引先責任者(Contact)を参照しているレコードページに、「メッセージ送信履歴」および「リッチメニュー情報」コンポーネントを直接配置できます。

※Lightning Experience(LEX)のみ対応

取引先責任者

メッセージ送信履歴

全て 成功 エラー

1 - 7 / 7 < 1 >

アクション	ジョブID	配信名	送信日時	送信結果	エラーメッセージ
プレビュー 詳細	04ba32b9-eecc-4a26-b175-31c503e877b4		2026/04/27 19:19	成功	
プレビュー 詳細	c94cfb08-6113-4cd3-8bb9-179c57cc6e51		2026/04/27 18:15	成功	

1.2.3 カスタムドメイン対応

OMLINE-O の製品ブランディングおよび信頼性向上のため、利用している以下 URL(エンドポイント)のドメインを、従来の AWS デフォルト URL から OMLINE-O 専用のカスタムドメインへと変更しました。

チャンネル設定:サーバーURL/サブサーバーURL

測定 API:測定 API エンドポイント

注意

- 従来の URL も引き続き利用することはできますが、順次切り替えを推奨しております。カスタムドメインの設定値は、バージョンアップ手順書を参照ください。

1.3 その他

軽微な修正を行いました。

2 お問い合わせ先

Sandbox 環境での動作確認にて問題があった際やご不明点などがございましたら、以下よりお問い合わせください。

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

3 免責事項

- ・ 本リリースノートは 2026 年 6 月 25 日現在のものです。Salesforce および本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます。
- ・ OMLINE-O の利用規約については、[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。



製品サポート

製品情報

<https://www.terrasky.co.jp/online-o/>

製品ユーザーガイド

<https://d.terrasky.jp/OMLineOUserGuide>

お問い合わせ窓口

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

OMLINE-O Ver. 1.8.0 リリースノート

リリース日：2026年6月25日